天神橋筋六丁目駅 40分コース

Osaka Metro まちさんぽ

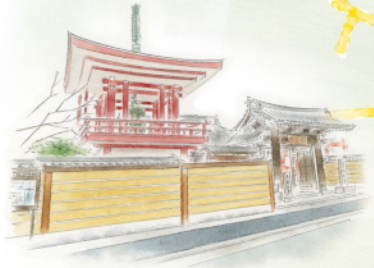
谷町線・堺筋線 天神橋筋六丁目駅

謎の皇都・長柄（ながら）

天六の背後には古い歴史がうずもれています

皇極4年(645)の乙巳（いっし）の変の後、孝徳天皇が難波に遷宮して難波長柄豊碕宮（なにわながらとよさきのみや）となりましたが、皇宮の場所としてほぼ確定されている法円坂の遺跡のほかに、豊崎神社(御堂筋線中津駅付近)から長柄にかけてあったという異説があります。長柄には国分寺もあって皇宮の存在を訴えています。

長谷川貞信
鶴満寺(浪花百景)
大阪市立図書館



スタート駅：天神橋筋六丁目駅 ②号出口（堺筋線・谷町線）

約40分

1 長柄・亀岡街道
2 南長柄八幡宮
3 国分寺
4 淀川天神社
5 正徳禅寺
6 鶴満寺
7 鶯塚
8 長柄八幡宮
9 松野登十郎の墓（光明寺）
10 長柄橋・慰霊観音像

ゴール駅：天神橋筋六丁目駅（堺筋線・谷町線）

かつての中津川はこのあたりで大川と分岐して、長柄川とも呼ばれていました。そこに架かっていたのが長柄橋で、人柱になった長柄長者の話が「雉（きじ）も鳴かずば撃たれまい」(無用なことを言うと禍を招く)という有名な逸話として伝わっています。

天神橋筋六丁目駅 40分コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線・堺筋線 天神橋筋六丁目駅

謎の皇都・長柄

天六の背後には古い歴史がうずもれています

皇極4年(645)の乙巳の変の後、孝徳天皇が難波に遷宮して難波長柄豊碕宮となりましたが、皇宮の場所としてほぼ確定されている法円坂の遺跡のほかに、豊崎神社(御堂筋線中津駅付近)から長柄にかけてあったという異説があります。長柄には国分寺もあって皇宮の存在を訴えています。

スタート駅 → 約40分 → ゴール駅

谷町線・堺筋線天神橋筋六丁目駅②号出口

谷町線・堺筋線天神橋筋六丁目駅

1 長柄・亀岡街道

長柄とは上町台地の先端の地形から呼ばれた地名だと思われ、また、魚の形をした島という地形からと説明されることもあります。亀岡街道は大坂市中より北摂を経由して亀岡へ向かう街道で、丹波の薪炭や農産物を大坂へ運ぶ道でした。天神橋筋から北上して長柄に出て中津川(旧淀川)を渡りました。

2 南長柄八幡宮

南長柄村の氏神で、明治末までは鶴満寺公園の場所にありました。公園東側に大川が流れて河川交通の要衝にあり、江戸時代には「鶴の八幡宮」とも称されました。

3 国分寺

斉明天皇が弟の孝徳天皇の菩提を祀るために、僧・道昭に命じて長柄豊碕宮旧社に長柄寺を建立したのが創始とされています。天平13年(741)に聖武天皇の詔により摂津国の国分寺になりました。大坂夏の陣や大戦の大空襲で罹災し、金堂は昭和40年(1965)に再建されました。

4 淀川天神社

国分寺村の氏神で、天平10年(738)に行基が天穂日命を祀って天神社と称したのがはじまりとされています。社殿は江戸時代中期に建立されたものです。

5 正徳禅寺

天平7年(735)に行基によって創建され、万治3年(1660)に黄檗宗の覚翁によって再建されて宇治の萬福寺の末寺になった古刹です。現代的な社殿ですが、萬福寺同様に三つ葉葵の寺紋が描かれています。

6 鶴満寺

宝暦3年(1753)に、豪商・上田宗右衛門の発願により現在地に移転再建されたとされています。釣鐘は「太平10年」(中国年号・1030)の朝鮮銅鐘で、高麗時代の名鐘として国の重要文化財になり大阪市立美術館に移されています。江戸時代は桜の名所でしたが、明治18年(1885)の淀川大洪水で枯れました。船場の旦那がなじみの芸者衆と花見にやってきて鶴満寺の寺男とやりとりをする上方落語の舞台です。

7 鶯塚

「長柄長者の娘が病で亡くなると、そのあとを追って可愛がっていた鶯が歌を詠んで死んだ」というので長者が娘と鶯を一緒に弔って建てた塚であると説明板に書かれています。ほかにも、この地に難波長柄豊碕宮を設けたとされる孝徳天皇の女官・鶯式部の墓であるという説があります。宝篋印塔には貞享3年(1686)の銘があり、300年を超える伝承です。

8 長柄八幡宮

北長柄村の氏神で、永仁4年(1296)に石清水八幡宮から勧請して祀られました。慶長15年(1610)に片桐且元が本殿などを改築しました。夏祭・秋祭で、境内のやぐらで奉納される摂州地車囃子は「長柄流」と呼ばれる当社発祥のものです。

9 松野登十郎の墓(光明寺)

境内に墓がある松野登十郎は、田安徳川家の代官として文政3年(1820)に南長柄村に赴任しました。長雨と中津川の決壊による大凶作に襲われた領民を救済しようと年貢の免除を田安家に哀訴しますが容れられず、登十郎は自刃して主家を諫めたといいます。以来、名代官の名をとどめています。

10 長柄橋・慰霊観音像

長柄橋南端には、昭和20年(1945)の空襲で淀川堤防に避難して機銃掃射に襲われて死亡した市民約400人を慰霊する観音像と弾痕のある橋脚が残されています。古代の淀川(中津川)はここより北方に流れていた暴れ川で、地元の長者が自ら人柱となって橋を架けたという「長柄の人柱」の伝承が伝わる長柄橋は、現在の東三国駅東方の流れに架かっていました。

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。
なお、掲載している情報は2026年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro
協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会　(お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp
後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

https://www.osaka-asobo.jp または 大阪あそ歩 で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

Osaka Metro × 大阪あそ歩 × 歴史街道　毎月第1金曜日発行

駅スタンプ押印欄

制作:大阪あそ歩委員会・茶谷幸治　編集:伏見佳子　デザイン:たばるかつこ　イラスト:櫻井さなえ